

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月29日 (2013.8.29)

【公表番号】特表2012-533407(P2012-533407A)

【公表日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-521677(P2012-521677)

【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 M 29/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/00 P

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月12日 (2013.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

埋込型医療機器であって、

L - ラクチドとグリコリドとを含むコポリマーを含み、

得られた前記コポリマーの結晶化度は、40%以下であり、

前記コポリマーは、約1mol%から約10mol%のグリコリドを含み、

前記コポリマーは、ポリ(D - ラクチド - コ - グリコリド)と混合されており、

前記ポリ(D - ラクチド - コ - グリコリド)は、前記コポリマーと前記ポリ(D - ラクチド - コ - グリコリド)の総重量に対して約2wt% ~ 約10wt%であり、

前記ポリ(D - ラクチド - コ - グリコリド)は、約2mol% ~ 約10mol%のグリコリドを含む、

埋込型医療機器。

【請求項 2】

前記コポリマーの前記結晶化度は、約15wt% ~ 約35wt%である、

請求項 1 に記載の埋込型医療機器。

【請求項 3】

前記コポリマーの前記結晶化度は、約20wt% ~ 約30wt%である、

請求項 1 または請求項 2 に記載の埋込型医療機器。

【請求項 4】

前記コポリマーは、前記グリコリドを約4mol%から約5mol%を含む、

請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれかに記載の埋込型医療機器。

【請求項 5】

ステントを備える、

請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれかに記載の埋込型医療機器。

【請求項 6】

ステントを製造する方法であって：

L - ラクチドと第 2 のモノマーとを含むコポリマーを提供する工程であって、得られた前記コポリマーの結晶化度は40%以下であり、前記コポリマーは、約1mol%から約

10mol%のグリコリドを含み、前記コポリマーは、ポリ(D-ラクチド-コ-グリコリド)と混合されており、前記ポリ(D-ラクチド-コ-グリコリド)は前記コポリマーと前記ポリ(D-ラクチド-コ-グリコリド)の総重量に対して約2wt%から約10wt%であり、前記ポリ(D-ラクチド-コ-グリコリド)は、約2mol%～約10mol%のグリコリドを含む、工程と；

必要に応じて核形成剤を前記コポリマーに添加する工程と；

前記コポリマーを押し出してチューブを成形する工程と；

押し出した前記チューブにアニーリングを施す工程と；

アニーリングを施した前記チューブを径方向、軸方向もしくは二軸方向、またはそれらを任意に組み合わせた方向に拡張する工程と；

拡張した前記チューブから埋込型医療機器を形成する工程を備える；

ステントを製造する方法。

【請求項7】

前記コポリマーに核形成材を添加する工程を備える、

請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記核形成剤が、タルク、ケイ酸マグネシウム水和物、エチレンビス(1,2-ヒドロキシステアリルアミド)、ヒドロキシアパタイト、デカメチレンジカルボン酸ヒドラジド、ジベンゾイルヒドラジド、フタル酸ジオクチル、乳酸エチル、クエン酸エステル類、乳酸エステル類、ラクチドエステル類、リン酸トリフェニル、グリセリン、アセチン、ブチリン、および脂肪酸からなる群から選択される、

請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記ポリマーの溶融体に核形成剤を添加せず、押し出した前記チューブに前記ポリマーのT_gよりわずかに高い温度でアニーリングを施す、

請求項6に記載の方法。